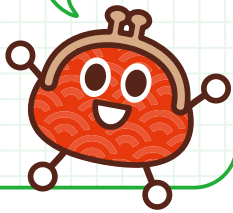


安城市の財政公表

令和5年度の決算の概要や市の財政状況をお知らせします。

安城市のお財布の中身を見ていこう！



令和5年度決算

健全財政を維持しつつ、物価高騰対策や新たな施策を実施

賃上げ等により緩やかに経済が回復した一方で、物価上昇により生活面において厳しい状況が続いた中、速やかに補正予算を編成し、市民生活の安定と地域経済の成長の実現に向けて様々な対策を講じてきました。第8次総合計画の最終年度として、「健康」「環境」「経済」「きずな」「こども」に基づいた施策を着実に実施しながら、給食費無償化等の新たな施策を展開しました。

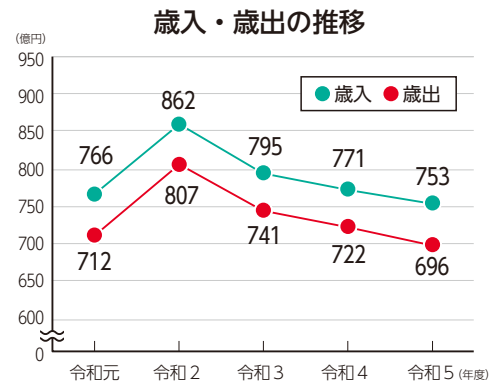
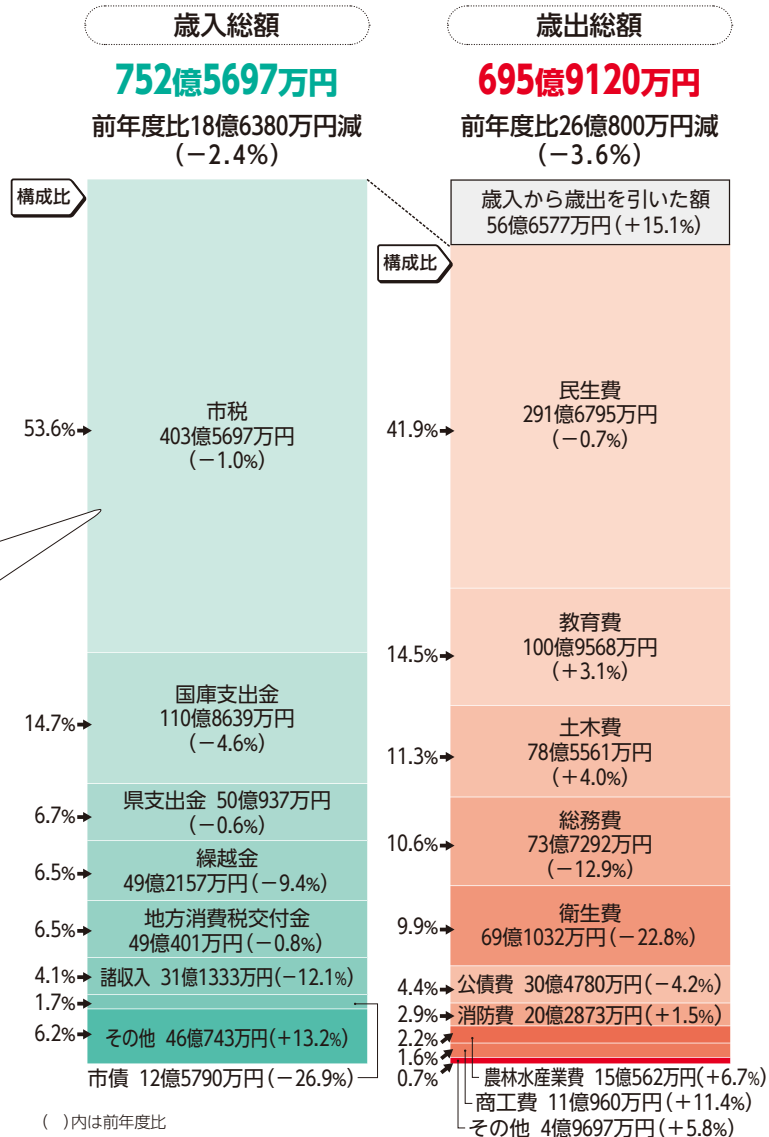
一般会計

収支は57億円の黒字になりました

一般会計とは、福祉や教育、道路整備等、行政の基本的な事業を行うための会計のことです。令和5年度は、歳入752億円余(前年度比2.4%減)、歳出695億円余(同3.6%減)となり、収支は約57億円の黒字となりました。

市税の一部の使い道

	事業名称	事業費	税からの充当額
都市計画税	公園整備事業	6222万円	2240万円
	街路事業	2億2325万円	7640万円
	市街地開発事業	7億8427万円	5億230万円
	公債費	20億7522万円	20億5095万円
	計	31億4496万円	26億5205万円
入湯税	観光振興事業	1億1889万円	753万円



市の支出を市民一人当たり換算すると

※令和6年3月31日時点の人口18万8010人で算出。

民生費	教育費	土木費	総務費	衛生費	その他	支出合計
医療・福祉・子育て支援等	学校・社会教育・スポーツ振興等	道路や公園等の整備	基金への積立、庁舎の管理等	保健衛生、ごみ処理等		
15万5140円	5万3698円	4万1783円	3万9216円	3万6754円	4万3555円	37万146円

市民1人当たりの市の貯金残高 **15万8046円** / 市民1人当たりの市の借金残高 **7万8085円**

令和5年度に取り組んだ主な事業

■ケンサチeフェス事業

若年層のデジタル人材育成と高齢者のフレイル予防を目的とし、ユニバーサルスポーツとしての特性を活かした「ケンサチeフェス」や「eスポーツ体験講座」を開催しました。(事業費580万円)



■屋外体育施設管理事業

利用者の利便性の向上とともにスポーツへの関心や健康増進に対する意識の向上を図るため、総合運動公園内における野球場の夜間照明の更新や、3×3バスケットボールコートを設置しました。(事業費3億2045万円)



■シェアサイクル事業

24時間利用可能な電動アシスト付き自転車によるシェアサイクルを開始し、移動交通手段の充実を図りました。(事業費1375万円)



■シティプロモーション事業

令和5年に放送された大河ドラマ「どうする家康」を活用し、家康ゆかりの地である本市の魅力や観光名所をPRするイベント等を行いました。(事業費5343万円)



■地区防災計画策定支援業務

災害が発生した際の地区の課題について、地区住民等で話し合い、実際に取り組むべき対策や訓練を企画する地域防災計画の策定を支援しました。(事業費273万円)



■安城プレミアムポイント還元事業

物価高騰の影響を受けている市民生活の支援、地域経済の活性化を図るため、対象となるコード決済サービスで決済した金額の最大25%のポイントを還元するキャンペーンを実施しました。(事業費1億7385万円)

■プラスチック資源再商品化(プラスチック資源一括回収)事業

家庭から排出されるプラスチック資源の一括回収を開始し、再商品化による資源リサイクルの推進と環境負荷の低減を図りました。(事業費8726万円)

■小中学校給食費無償化事業

子育て世帯の負担軽減を図るため、9月から小中学校の給食費の無償化と特別支援学校等へ通う児童生徒の保護者へ給食費相当額の補助金を支給しました。(補助金に関する事業費1243万円)

■小中学校施設改修事業

校舎等建物や設備機器等の延命化・機能保全と機能向上を目的とした修繕・改修工事を実施しました。(事業費16億4534万円)

■出産・子育て応援交付金給付

出産準備金・出産後支援金を支給し、妊娠期から出産・子育て期までの伴走型相談支援の充実と経済的支援を一体的に実施しました。(事業費1億4185万円)

特別会計

特別会計とは、保険料や使用料等、事業内の独自の収入で運営している会計のことです。

会計名(事業)	歳入	歳出	差引
国民健康保険	152億6111万円	144億836万円	8 億5275万円
土地取得	137万円	70万円	67万円
有料駐車場	4 億8928万円	3 億8406万円	1 億522万円
安城桜井駅周辺特定土地区画整理	7 億9001万円	5 億9288万円	1 億9713万円
介護保険	114億5997万円	111億2053万円	3 億3944万円
後期高齢者医療	26億3242万円	26億1364万円	1878万円

特別会計は、
いずれも黒字でした



公営企業会計

公営企業会計とは、地方公共団体が経営する企業の会計を指します。本市では、水道事業、下水道事業が該当し、決算額は下表のとおりとなりました。

会計名	区分	決算額	主な内容
水道事業	収益的収入	33億9237万円	水道料金
	収益的支出	29億6810万円	県水受水費
	資本的収入	4 億8595万円	工事負担金
	資本的支出	15億2758万円	建設改良費
下水道事業	収益的収入	31億5142万円	下水道使用料
	収益的支出	30億5591万円	維持管理費負担金
	資本的収入	17億3513万円	一般会計出資金
	資本的支出	30億7015万円	建設改良費

資 産

公有財産	
土地	269万9517㎡
建物(延べ面積)	55万5928㎡
有価証券	3270万円



財政の現状とこれから

自治体の財政状況を判断する健全化判断比率の数値は良好であり、健全財政を維持しています。しかしながら、物価高騰等により景気の先行きが不透明であるため、引き続き、歳入歳出両面から健全財政を堅持するための見直しを進めていきます。

市の借金と貯金残高

	会計	金額	前年度比
市債残高 (市の借金)	一般会計	146億8085万円	－17億4246万円
	特別会計	449万円	－448万円
	企業会計	143億2094万円	－3 億806万円
基金残高 (市の貯金)	一般会計	297億1425万円	+13億3724万円
	特別会計	57億7583万円	+ 5 億2447万円

財政力指数
1.30

行政サービスにかかるお金を市税等で賄える割合(指数が1を超えるほど自主財源の割合が高い)

経常収支比率
84.7%

(全国市町村平均93.1%)
 市税等の収入に対する経常的な行政コストの割合(比率が高いほど自由に使えるお金が少ない)

健全化判断比率

指標	早期健全化基準	安城市
実質赤字比率(一般会計等の赤字の割合)	11.33%	赤字なし(－9.4%)
連結実質赤字比率(3会計を合わせた赤字の割合)	16.33%	赤字なし(－24.36%)
実質公債費比率(年間の借金返済額の割合)	25.0%	0.6%
将来負担比率(将来の負担となる借金の割合)	350.0%	－(－77.8%)

◀各指標が早期健全化基準を上回ると、財政健全化への取組みが必要になります。

今後の取組み

事業の選択と集中

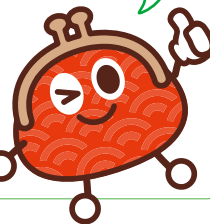
経常経費の節減、合理化・効率化に徹底的に取り組みます。

自主財源の確保

市税等の収納率の向上を図るとともに、広告収入等の自主財源確保を進めます。

適切な資産管理・運用

公共施設等の資産の適切な維持保全と財政負担の軽減の両立を図ります。



安城市は、今後も健全財政の維持に努めます！

令和6年度上半期・予算執行状況

一般会計(歳入)

款別	予算現額	収入済額	収入率
市税	395億4840万円	230億1435万円	58.2%
国庫支出金	119億3939万円	30億1596万円	25.3%
県支出金	50億6219万円	5 億7308万円	11.3%
地方消費税交付金	48億5000万円	28億3333万円	58.4%
繰越金	41億1505万円	56億6576万円	137.7%
繰入金	36億5837万円	0円	0.0%
諸収入	28億2043万円	4 億4305万円	15.7%
市債	22億3620万円	0円	0.0%
地方特例交付金	11億7700万円	11億7082万円	99.5%
その他	42億3828万円	16億3374万円	38.5%
計	796億4531万円	383億5009万円	48.2%

一般会計(歳出)

款別	予算現額	支出済額	支出率
民生費	322億4125万円	125億525万円	38.8%
教育費	119億5654万円	49億5881万円	41.5%
土木費	113億528万円	31億973万円	27.5%
衛生費	80億5187万円	21億7915万円	27.1%
総務費	75億2745万円	23億8679万円	31.7%
公債費	29億1817万円	14億5317万円	49.8%
消防費	23億3528万円	9 億2216万円	39.5%
農林水産業費	16億1857万円	7 億1621万円	44.2%
商工費	10億1487万円	4 億2418万円	41.8%
議会費	4 億7865万円	2 億3219万円	48.5%
労働費	9738万円	3244万円	33.3%
その他	1 億円	0円	0.0%
計	796億4531万円	289億2008万円	36.3%

特別会計

会計名(事業)	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険	145億7500万円	58億3617万円	55億6283万円
土地取得	100万円	69万円	0円
有料駐車場	2 億9400万円	2 億1307万円	3747万円
安城桜井駅周辺特定土地区画整理	5 億9980万円	2 億1668万円	1 億226万円
介護保険	119億7600万円	46億5502万円	47億3608万円
後期高齢者医療	32億2500万円	10億5609万円	5 億915万円
計	306億7080万円	119億7772万円	109億4779万円

公営企業会計

会計名	区分	予算現額	執行済額
水道事業	収益的収入	32億6700万円	15億7554万円
	収益的支出	31億8200万円	9 億5019万円
	資本的収入	6 億400万円	4015万円
	資本的支出	18億300万円	12億5196万円
下水道事業	収益的収入	34億1500万円	14億9480万円
	収益的支出	33億1100万円	6 億1512万円
	資本的収入	17億7812万円	1 億7139万円
	資本的支出	31億3710万円	7 億2430万円

収益的収支：経営活動により発生する収入・支出
 資本的収支：施設を建設・整備するための収入・支出